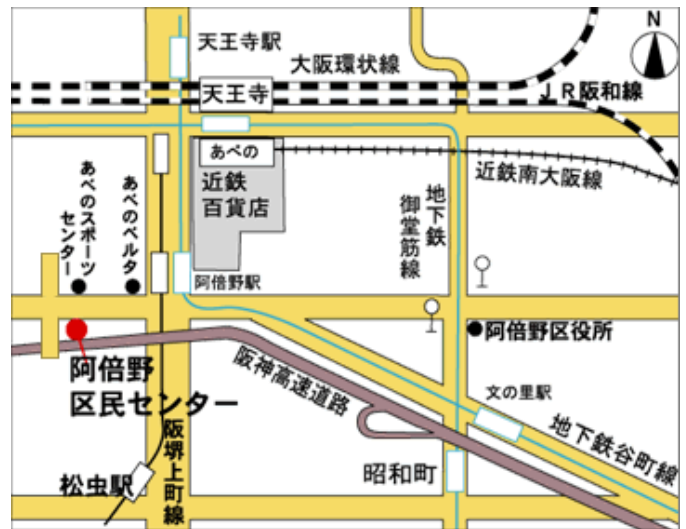


開催にあたって

厚労省は、2002年度以降、中学生向け啓発パンフレット「ハンセン病の向こう側」を全国の公立中学校に配布しています。また、来年度使用予定の中学校社会科「公民」の教科書全てにハンセン病問題が取り上げられています。若い世代にハンセン病問題を伝え、二度と疾病や障害を理由とした偏見差別を繰り返さないためです。しかし、未だ「ハンセン病は怖い病気」「ハンセン病回復者の家族との結婚は忌避する」などの根強い偏見・差別意識があることが大阪市社会福祉協議会の市民意識調査で明らかになりました。そのような中で、大阪・神戸で憲法ミュージカルとして上演された「ドクターサーブ」での、アフガニスタンのハンセン病患者を救う医師の偉大さを強調するあまり、ことさら患者を悲惨な姿で描き出す演出がハンセン病に対する偏見差別を助長し、当事者の尊厳を傷つけるものであるとして厳しい批判を受けています。これらの問題をとおして、ハンセン病問題の啓発をめぐる課題について考えたいと思います。



交通のご案内

- ・地下鉄谷町線「阿倍野」下車6番出口西へ約100m
 - ・阪堺電鉄上町線「阿倍野」下車西へ約100m
 - ・JR環状線「天王寺」下車南へ約800m
- ※阿倍野区民センターには駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催 ハンセン病問題講演会実行委員会：大阪府人権協会、大阪府人権協会、福祉運動・みどりの風、ヒューマンライツ福祉協会、大阪府社会福祉協議会、大阪府社会福祉協議会、虹の会おおさか、大阪社会福祉士会、大阪府人権福祉施設連絡協議会、真宗大谷派解放運動推進本部、ハンセン病関西退所者原告団いちょうの会、ハンセン病国賠訴訟瀬戸内弁護団、ハンセン病回復者とともに歩む関西連絡会、ハンセン病問題を考えるネットワーク泉北、松原市、大阪府精神障害者家族会連合会、大阪精神科病院協会、恩賜財団大阪府済生会、石神記念医学研究所、大阪府総合福祉協会（順不同）

共催 大阪府 大阪市

後援 全国ハンセン病療養所入所者協議会、国立療養所邑久光明園入所者自治会、国立療養所長島愛生園入所者自治会、国立療養所大島青松園入所者自治会、大阪府病院協会、大阪府教育委員会（申請中）、大阪府教育委員会、大阪府医師会、大阪府民生委員児童委員協議会、大阪府民生委員児童委員連盟、ハンセン病療養所の将来構想をすすめる会・関西実行委員会、大阪精神障害者連絡会、障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会議、DPI 日本会議、大阪精神科診療所協会、大阪府保険医協会、堺市民生委員児童委員連合会、堺市社会福祉協議会、堺市、大阪府私立病院協会、大阪介護老人保健施設協会、大阪府歯科医師会、大阪府薬剤師会、大阪府看護協会、大阪府市長会、大阪府町村長会、全医労近畿地方協議会、能勢町、豊能町、池田市、箕面市、豊中市、茨木市、高槻市、島本町、吹田市、摂津市、枚方市、交野市、寝屋川市、守口市、門真市、四條畷市、大東市、東大阪市、八尾市、柏原市、和泉市、高石市、泉大津市、忠岡町、岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町、羽曳野市、藤井寺市、太子町、河南町、千早赤阪村、富田林市、大阪狭山市、河内長野市（2012年1月6日現在）（順不同）

問い合わせ

「ハンセン病問題講演会実行委員会」事務局

〒542-0012 大阪市中央区谷町7丁目4-15
大阪府社会福祉会館 302号
社会福祉法人大阪府総合福祉協会
ハンセン病回復者支援センター 担当：加藤、桑山
TEL：06-6711-0003
FAX：06-6711-0012
E-mail：kuwayama@humind.or.jp

